

豊頃町

山本 健太

1. 豊頃町概要

1.1 概要・地名の由来

豊頃町は、北海道十勝地方の東南端に位置する、農業と漁業を基幹産業とする人口約 3,800 人の町である。

町名の由来はアイヌ語の「トエコロ」で「大きなフキが生えていたところ」といわれている。

図 1 豊頃町町章



出所：豊頃町 HP

1.2 町章・カントリーサイン

町章はト・ヨ・コ・ロを抽象化したもので、全体の円は平和・親睦・協力・団結を示し、変形三重円は波紋を表現し、町の限りない躍進を表している。

また、カントリーサインは町のシンボルともいえるハルニレの木をモチーフとしている。

図 2 豊頃町
カントリーサイン



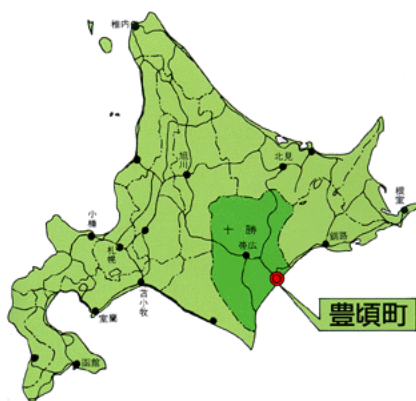
出所：北の道ナビ HP

2. 豊頃町の地理・気候

2.1 位置・地理

面積 536.52km²、北緯 42 度 34 分 東経 143 度 19 分に位置する。十勝川が町の東端を南東に流れ、その流域は平らで、両側は丘陵性の段丘が起伏しており、海拔高度は低く、平均すると 10m 程度である。丘陵地は最も高い大樹との境でも 331.2m である。

図 3 豊頃町の位置①



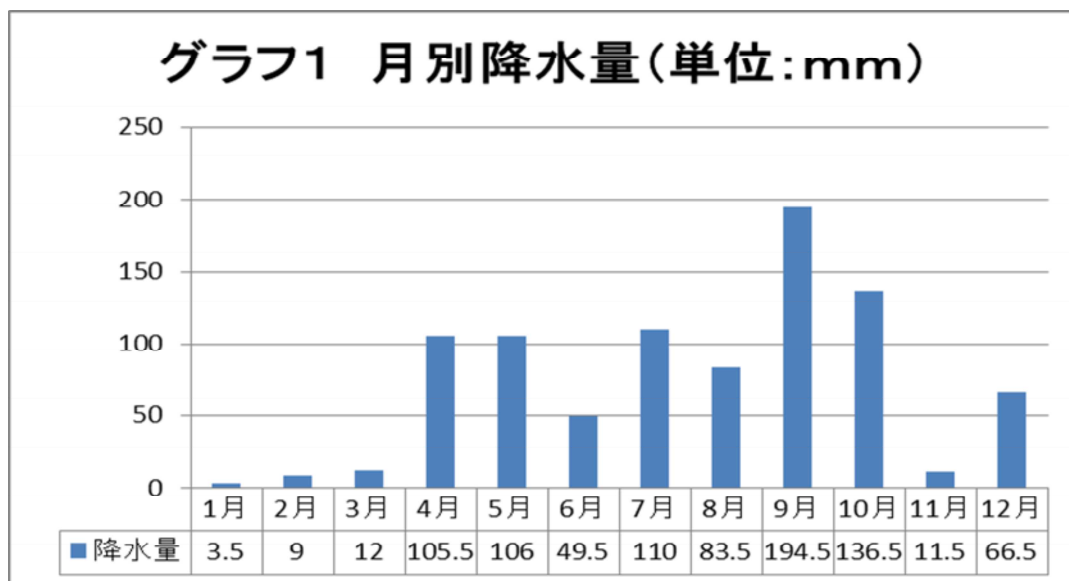
出所：豊頃町 HP

図 4 豊頃町の位置②



出所：Wikipedia より筆者作成

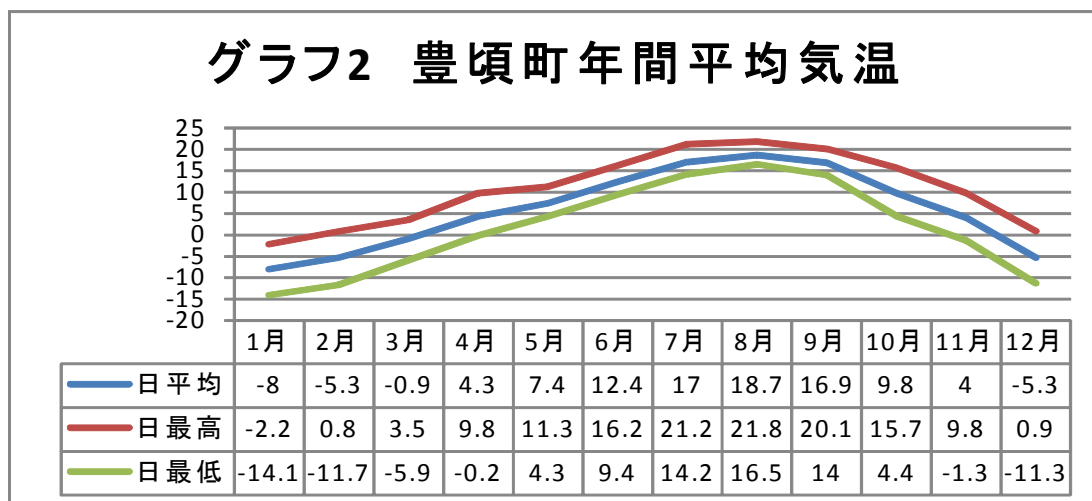
2.2 年間平均降水量



出所：気象庁 HP より筆者作成

豊頃町は特に9月の降水量が多い。そして、秋の時期に比較的集中して雨が降っているといえるだろう。また、冬季の降水量が少なく、特に1,2月は雪があまり降らないことがうかがえる。

2.3 年間平均気温



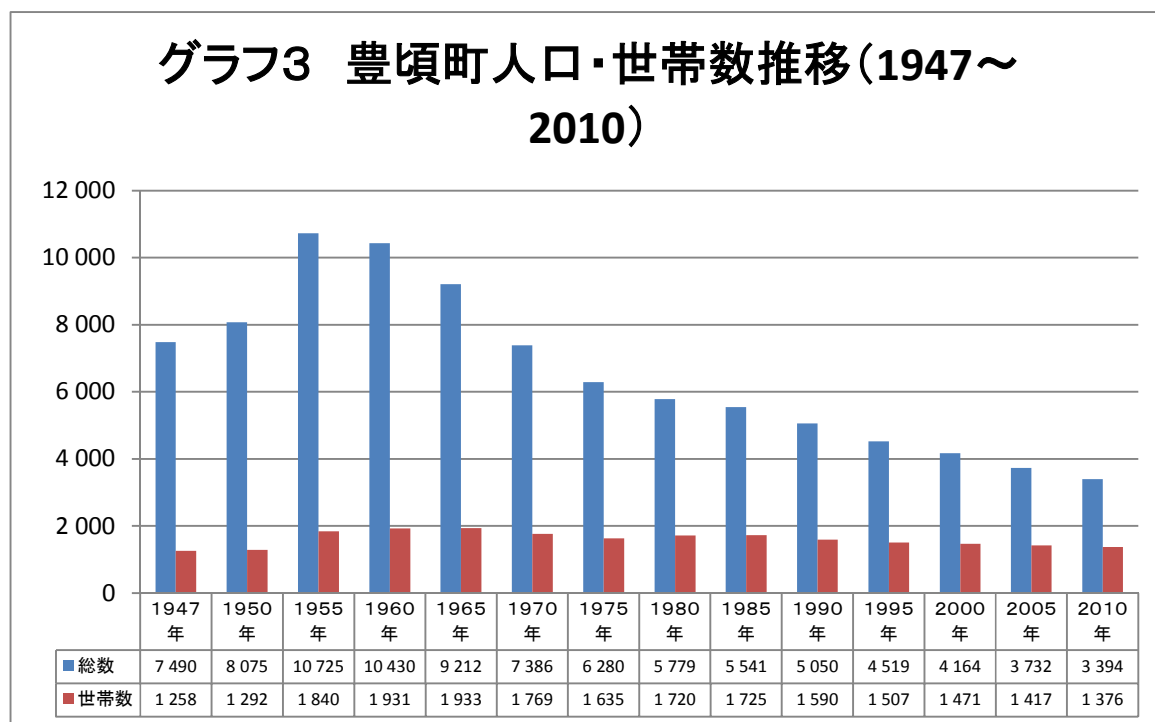
出所：気象庁 HP より筆者作成

豊頃町は8月の21.8度が最高であり、夏季でもあまり気温は高くないことがわかる。また、最低も1月の-14度である。日平均を年間を通してみても、夏季と冬季の差が大きいとは言えず、年間を通して気温差が小さいことがわかり、比較的過ごしやすい気候にあるといえるのではないだろうか。

3. 豊頃町の歴史

豊頃町は、1880 年（明治 13 年）に大津外 4 郡戸長役場が置かれたのを開町とする。豊頃には本格的な開拓の鋤が入れられたのは明治中期であり、1897（明治 30 年）年には本町の開拓に大きな役割を果たした二宮尊親（二宮尊徳の孫）が福島県から興復社一行を率いて二宮地区に入植した。時を前後し、町内各地に移民が入植することで、1960 年（明治 39 年）には豊頃は戸数 700 戸あまり、人口 3,500 人を数える村に成長した。その後、1955 年（昭和 35 年）には、豊頃村と大津村中部地区が合併し、戸数 2,000 戸、人口 10,180 人となり、開町 85 年にあたる 1965 年（昭和 40 年）1 月 1 日から町制が施行された。また、2000 年（平成 12 年）には開町 120 年を迎え、記念行事なども行われた。

4. 人口・世帯数推移



出所：国税調査より筆者作成

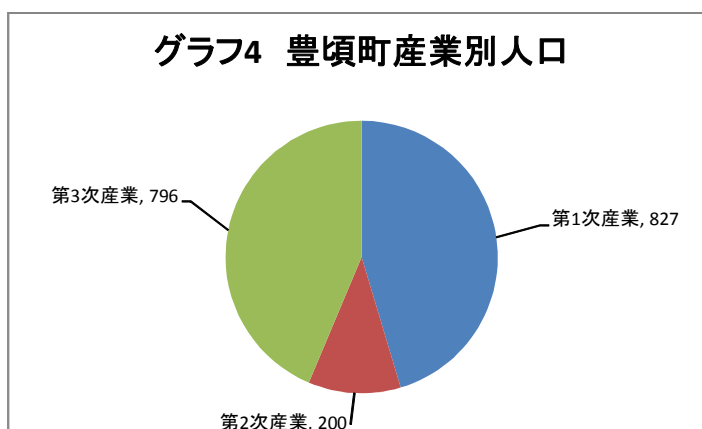
豊頃町の人口は 1955 年の 10,725 人をピークに年々減少していき、2010 年には 3,394 人となっており、ピーク時の 3 分の 1 ほどにまで減少している。世帯数も同様に減少傾向だが、人口の減少に比べて緩やかであることから、1 世帯当たりの構成人数が減少していることが読み取れる。ピーク時の 1 世帯当たりの人数は約 6 人だが、2010 年には 2.4 人にまで減少している。

5. 豊頃町の産業

5.1 産業別人口

グラフからは、第1次産業と第3次産業の割合が大きく、第2次産業の割合は低いことが読み取れる。第1次産業の割合が大きいことは、酪農や漁業が盛んであることが主な理由であるとみられる。また、第2次産業が少ないことから、豊頃町

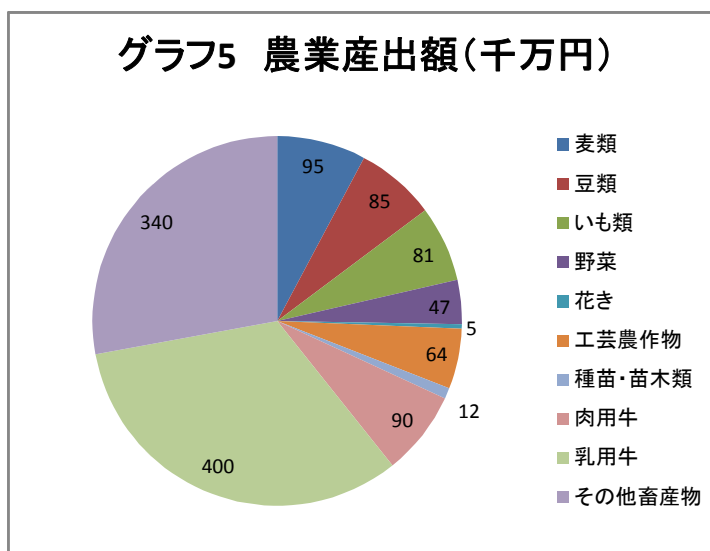
ではあまり工業は盛んではないことがわかる。しかし、「株式会社エコ ERC」の工場が存在し、バイオ燃料、食用油、飼料といったものを製造している。また、ナタネ油作りが、小学校の学習の一環として取り入れられてもいる。



出所：農林水産省 HP より筆者作成

5.2 農業産出額

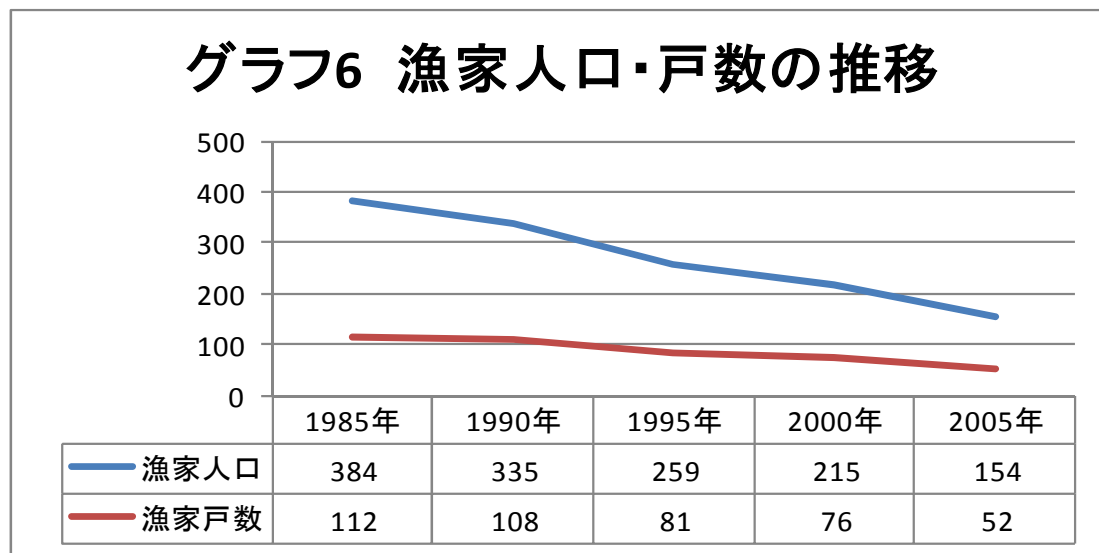
グラフを見てわかるとおり、畜産が非常に盛んであることがわかり、全体の7割近くを占めている。その中でも乳用牛の割合が大きく、全体の約3割を占めていることから、酪農が盛んであることが読み取れる。また、生産された原乳は「よつ葉乳業十勝主管工場」に出荷され、加工されている。その他の特徴として、いも類は馬鈴薯が中心であり、ポテトチップスの加工用にも生産されている。野菜では、大根が「十勝だいこん」のブランドで生産され、関西方面を中心に出荷されている。また、豆類においては、適度な寒暖の差を生かした、風味の良い高品質なものが栽培されており、特に小豆は和菓子等を扱う菓子屋から高い評価を受けている。



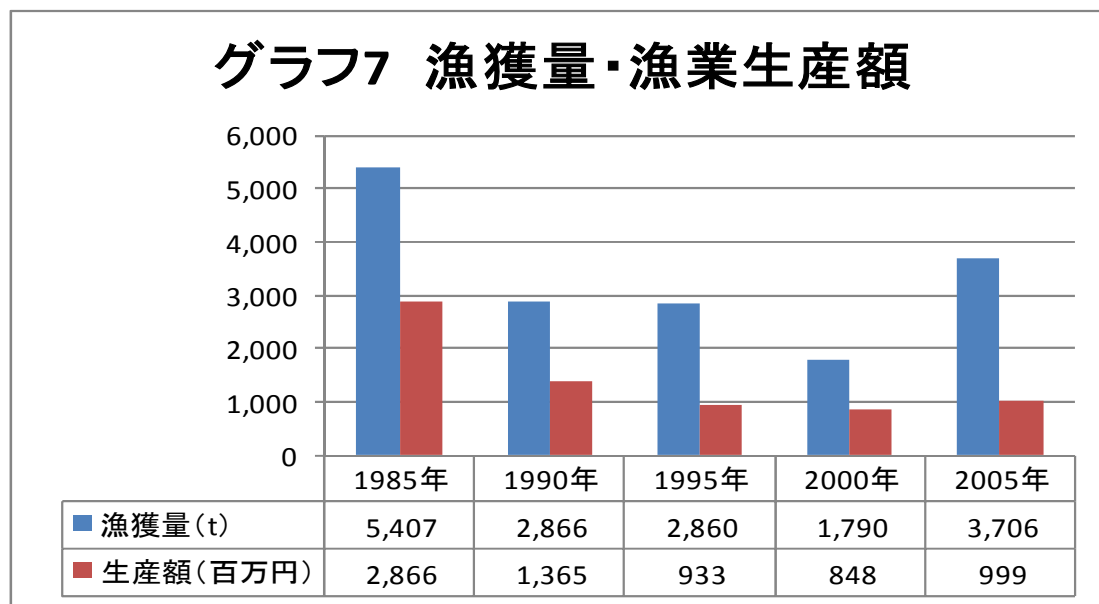
出所：農林水産省 HP より筆者作成

5.3 漁業

豊頃町では漁業が盛んで、大津港を拠点に営まれている。大津漁港の漁獲量は、十勝沿岸4町（広尾町、大樹町、豊頃町、浦幌町）の約10%、漁業生産額については約18%となっている。また、後述にもあるが、鮭の水揚げが多いことが特徴である。

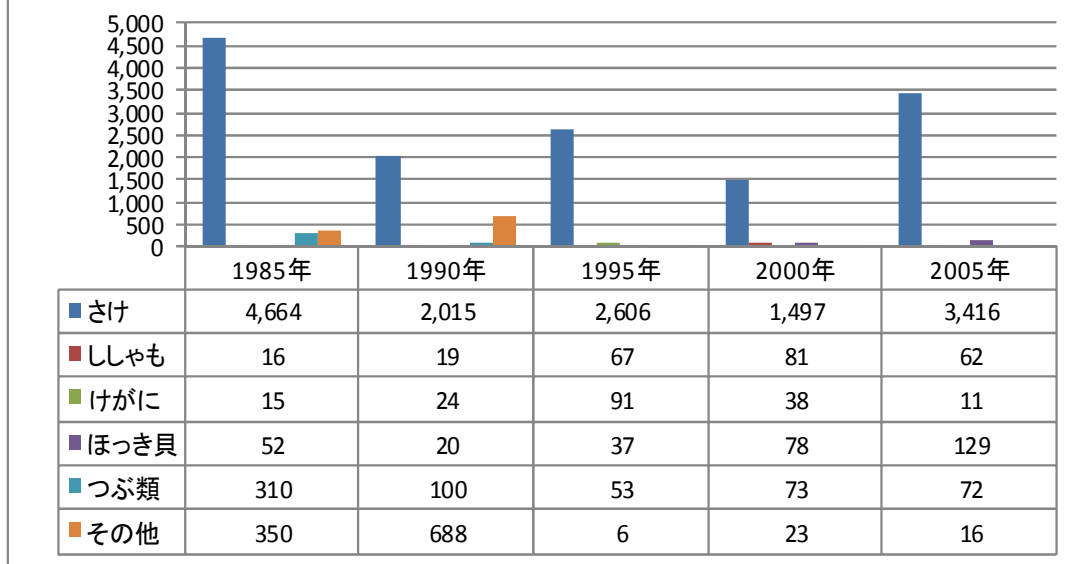


出所：豊頃町 HP より筆者作成



出所：豊頃町 HP より筆者作成

グラフ8 魚種別数量



出所：豊頃町 HP より筆者作成

グラフ 6 からは、漁家人口や漁家戸数が年々減少していることが分かる。どちらも 1985 年に比べて 2005 年には半分以下になっている。また、漁家人口と同じような割合で漁家戸数が減少していることから、後継者がおらず、そのまま漁業を行わなくなっていくという構図が推測できる。グラフ 7 をみると、漁獲量は 2005 年が 2000 年に比べて上昇しているのが分かる。しかし、生産額があまり増加していないことから、漁獲量が生産額に直結しておらず、市場の卸売価格が低下していることが考察できる。また、グラフ 8 からは、「さけ」が突出していることが見て取れ、漁獲量に占めるサケの割合が平年で 8 割以上と高い水準にあることもわかる。だが、他の漁業のウェイトが低いため、「さけ」に頼り切った状況にあるといえる。ちなみに、「さけ」に関してはサケの人工ふ化放流事業の成果によるところが大きい。

画像 1 秋鮭定置網漁の様子



出所：豊頃町 HP

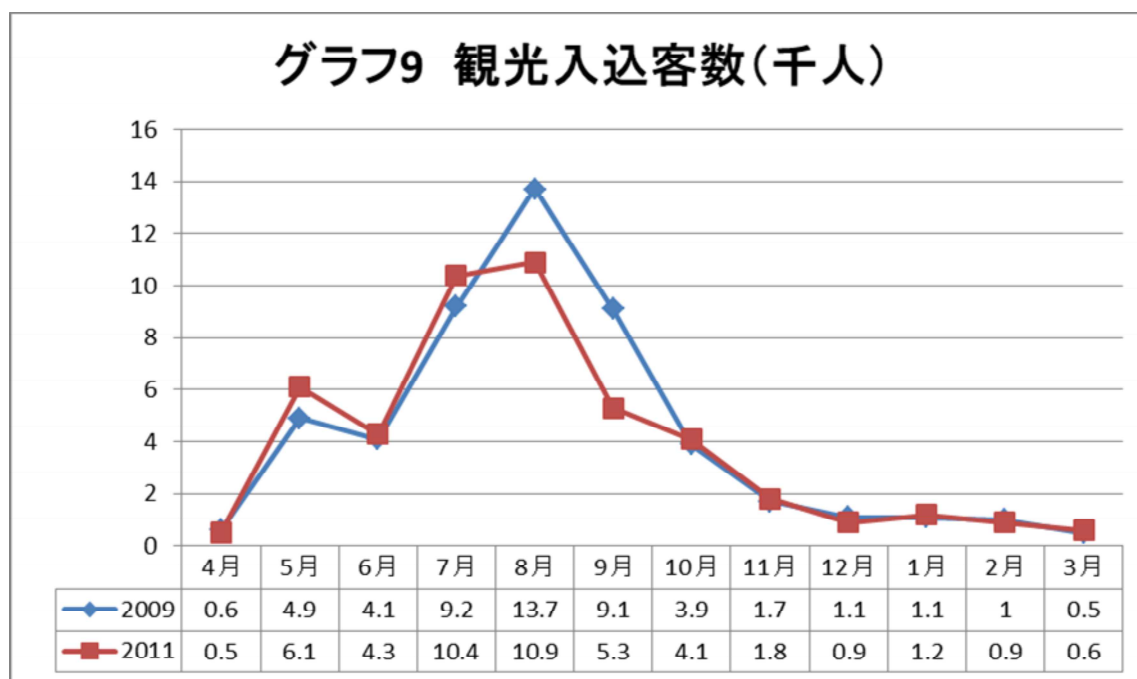
画像 2 大津港



出所：豊頃町 HP

6. 豊頃町の観光

6.1 観光入込客数



出所：十勝総合振興局 HP より筆者作成

グラフを見てわかるとおり、夏の時期に観光客が集中していることがわかる。これは、豊頃町主な観光資源が長節湖や湧洞湖といった湖や茂岩山などの自然を生かしたものであり、キャンプなどで訪れる人が多いからだと推測できる。また、注目したいのは9月の観光客数であり、2011年と2009年には非常に大きな差がある。9月は例年「海と大地の祭とよころ産業まつり」が開催されていたのだが、2011年は中止されている。この差には、そのことが大きく影響しているといえ、豊頃町において、「海と大地の祭典とよころ産業まつり」は非常に重要な観光資源となっていることがわかる。

6.2 湖

豊頃町には長節湖と湧洞湖の2つの湖があり、それぞれに多くの自然が残り、北海道らしさを感じることができる、長節湖の湖畔にはキャンプ場（バンガロー、炊事場、トイレ、駐車場、売店等）が整備されており、毎年7月下旬から8月中旬は、大勢の観光客でにぎわう。また、湖を1周する形で遊歩道も整備されている。太平洋と長節湖の間にある砂州には原生花園が広

画像3 湧洞湖



出所：豊頃町 HP

がり、春になるとハマナス、エゾカンゾウなどが咲く。また、湧洞湖は汽水湖であり、渡り鳥をはじめとして水鳥が数多く飛来し、タンチョウが姿を見せることがある。

6.3 茂岩山自然公園

豊頃町の中心に位置する茂岩山は、丘陵性の台地にカラマツ、トドマツが繁り、サクラやエゾムラサキツツジが咲きほこる、自然環境に恵まれた森林で、一帯には、キャンプ場（バンガロー、焼き肉施設、炊事場、トイレ）やスポーツ施設（野球場、パークゴルフ場、テニスコート、サイクリングロード）などが整備されているなど、レジャー施設としても最適である。

6.4 ハルニレの木

豊頃町のシンボルともいえる木である。画像 6 のものは 2 本の木が一体化して美しい形を作った珍しいもので、推定樹齢は 140 年である。二宮尊親が入植した歴史を持つ、二宮地区には、実に樹齢 200 年を超えるとされるハルニレの木も存在し、二宮のハルニレと呼ばれる。

画像 6 ハルニレの木



出所：豊頃町 HP

画像 4 長節湖



出所：豊頃町 HP

画像 5 茂岩山自然公園林間キャンプ場



出所：豊頃町 HP

画像 7 二宮のハルニレ



出所：豊頃町 HP

6.5 豊頃町のイベント

豊頃町では毎年秋に、豊頃町の産物を大勢の人々に提供し、観て、食べて、遊んで豊頃の一日を楽しみ、秋の風物詩を創出する「海と大地の祭典」とよころ産業まつりが開催されている。イベントでは秋あじ（鮭）のつかみ取りや野外ゲーム、歌謡ショーなどの催しが行われるほか、秋あじの即売、各露店市、姉妹都市物産の販売などが行われる。しかし、2011年度は東日本大震災により姉妹都市である、福島県相馬市が甚大な被害を受けたことなど、震災による影響もあり開催は中止された。また、2010年度も宮崎県で発生した口蹄疫をうけ、自粛し中止した。そのため2012年度は3年ぶりの開催であり、9月16日に開催される予定だ。また、他にも夏季には「とよころ夏祭り」が開催され、露店の出店や各種イベント、花火大会も行われている。

画像8 海と大地の祭典豊頃産業まつり
2012年度ポスター



出所：豊頃町 HP

画像9 秋あじ（鮭）のつかみ取りの様子



出所：豊頃町 HP

画像10 とよころ夏まつりポスター



《参照ホームページ》

- ・豊頃町 HP : <http://www.toyokoro.jp/05event/viewpoint.html>
- ・北海道庁 HP : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>

- ・ 十勝総合振興局 HP : <http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/>
- ・ 気象庁 HP : <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ・ 北の道ナビ HP : <http://northern-road.jp/navi/>
- ・ 農林水産省 HP : <http://www.aff.go.jp/>
- ・ 総務省統計局 HP : <http://www.stat.go.jp/index.htm>
- ・ JA 豊頃町 HP : <http://www.ja-toyokoro.or.jp/index.html>
- ・ Wikipedia : <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B1%8A%E9%A0%83%E7%94%BA>